

障害者スポーツ

やまぐち 協会だより

創刊号

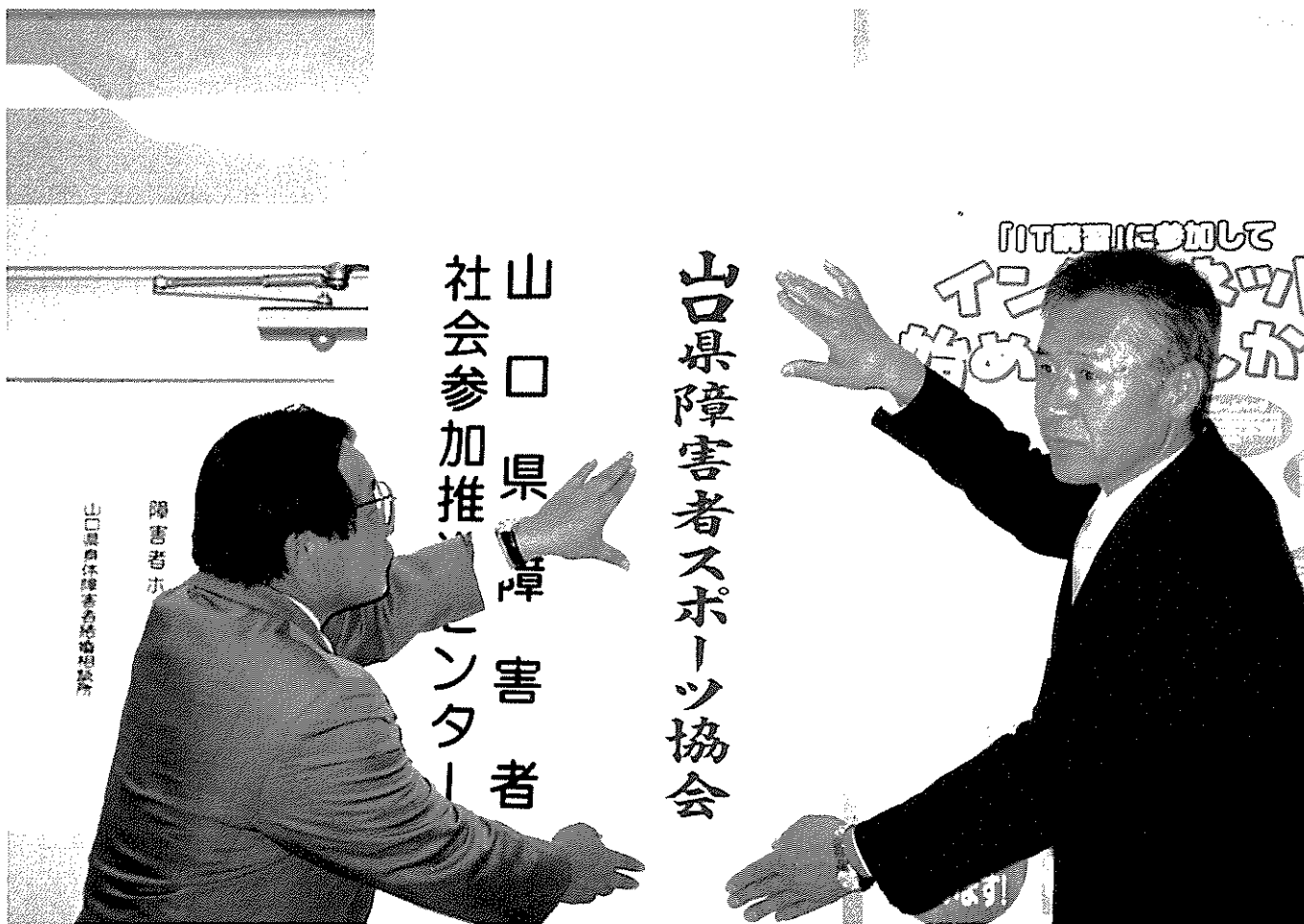
平成15年（2003年）1月発行

山口県障害者スポーツ協会

〒753-0072

山口市大手町9-6（山口県社会福祉会館2F）

TEL 083-901-4065 FAX 083-901-4065



山口県障害者
社会参加推進センター

山口県障害者スポーツ協会

障害者ホ
山口県身体障害者福祉協会の

看板がけをする橋本会長と三枝専務理事

◎創刊ごあいさつ

◎記録室～選手の活躍

スポーツ協会設立に思う

山口県障害者スポーツ協会
会長 橋本達則

☆はじめに

障害者スポーツは、障害者の健康づくりや生きがいづくりに寄与し、地域での自立と社会参加を実現するうえで、大変意義あるものです。平成12年度に障害者スポーツ振興検討委員会で1年間検討協議を重ね振興施策としてまとめられ、これが県をはじめ市町村、関係団体等の具体的な取り組みに反映され、平成14年5月21日身体・知的・精神の3障害による「山口県障害者スポーツ協会」が設立されました。

☆私の思い

まさか、私が会長の席につくとは夢にも思っておりませんでした。私自身、重責を担って自問自答しながら協会の発展について模索しております。

振り返って見ますと、私が障害者福祉に携わって約30年近くになります。私が生涯スポーツとしている卓球は40年余りになります。高校時代の体育の時間で卓球の授業があり、体育の時間は全て見学していた私でしたが、先生や同級生から勧められラケットを握りました。これが非常に楽しくて体育授業に参加できた喜びで一杯でした。私の生涯スポーツを見つけた喜びの瞬間でもありました。そして、高校最後の年はキャプテンをやり、卒業後は、健常者の同好会に入り、我流でやっていた私に仲間達から基礎をみっちり教えてもらいました。そして、会社では同好会を作り、身障者の愛好者を集め、同好会から卓球協会に発展させ健常者との交流を深めつつ、初めてラケットを握った時の喜びを思い出しながら、スポーツ協会設立の夢を描いておりました。

☆今後の取り組み

障害者スポーツの組織は障害者だけがいくら頑張っても絶対に発展はありません。当協会は、様々な分野からの参加を頂いての運営となっておりますので、全国的には遅れて発足しましたが、日本一の協会として自負できる障害者スポーツ協会にしたいと考えているところです。私が初めてラケットを握った時の喜びを、皆さんにも伝えたい。そして、健康づくり生きがいづくりに結びつけ、障害の有無にかかわらず等しく、共に楽しむスポーツの環境づくりに取り組んでいきたいと思っています。

☆協会加入のメリット

どんな組織に加入する際に、「メリットは何がありますか?」とよく聞かれますが、メリットは自分で探すものです。今の状況に満足しては進歩は有りません。

新しく課題を模索しながら進んでいけば目的達成が適います。そして、次の課題へ。これがメリットと考えます。山口県障害者スポーツ協会には沢山のメリットが存在しています。

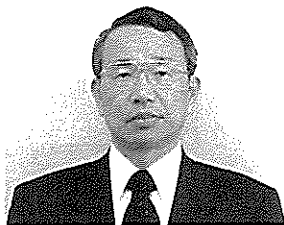
☆終わりに

山口県障害者スポーツ協会は、産声をあげたばかりであり、今後成長していくためには、行政をはじめ関係団体・機関と協力しながら、皆様方の格別のご支援・ご協力を頂きまして、まず出来ることから着実に取り組んでいくことが重要であると思います。今後とも、当協会に対しまして、格別なご協力を切にお願いいたします。



設立理事会・評議員会

山口県障害者スポーツ協会設立にあたり



山口県健康福祉部長
部長 佐久間 勝 雄

障害者スポーツに関係する皆様方の御熱意と御努力により、「山口県障害者スポーツ協会」が設立されましたことを心からお喜び申し上げます。障害者スポーツ振興の核となる組織の設立は、関係者の方々の長年の念願であり、このたびの協会設立が、県内障害者スポーツのさらなる発展に向けた大きな第一歩となることを強く期待いたしますとともに、この間の関係者の方々の御努力に対し、深く敬意を表する次第であります。

また、身体障害・知的障害・精神障害の三つの障害を対象とする組織として貴協会が設立されたことは、今後、幅広いネットワークづくりを進め、様々な面から障害者スポーツを振興する上で大きな意義があるものと思っております。

さて、昨年11月、第2回全国障害者スポーツ大会が高知県で開催されました。関係者の皆さんの熱意あふれる御支援と選手の皆さんの活躍により、山口県選手団は、一昨年開催の第1回大会に引き続き、メダル37個という優秀な成績を収めることができました。大会の報告を聞き、その成績以上に嬉しく思いましたことは、各選手が最後まで全力でプレーし、また選手団が一致団結して大会に取り組んだということです。また、大会ボランティアや他県選手などと様々な交流が生まれたことなど、スポーツの持つすばらしさ、魅力の一端を改めて認識いたしました。

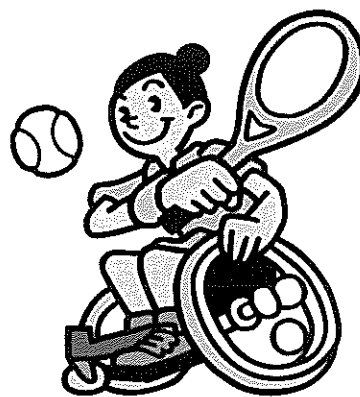
近年において障害者スポーツは、リハビリテーションとしての手段から、生活を豊かに楽しむスポーツ・レクリエーション、さらにはパラリンピ

ックに代表される競技スポーツに至るまで、そのニーズや参加形態が多様化しており、障害の有無にかかわらず、誰もが等しく参加できる環境づくりが求められております。

こうした中、貴協会におかれましては、障害者スポーツ活動の振興を担う中心的な組織として、障害のある方の主体的で多様なスポーツ活動の支援といった視点に立った様々な事業を展開されておられます。

県といたしましても、貴協会をはじめ関係者の皆様方の御支援・御協力をいただき、平成23年度に本県で開催されます全国障害者スポーツ大会も視野に入れながら、スポーツ人口の拡大をはじめ、指導者・ボランティアの養成、選手の育成など障害者スポーツの振興に積極的に取り組み、スポーツを通じたノーマライゼーションの推進と県民の皆様方の理解を深めてまいりたいと考えております。

終わりにになりましたが、「山口県障害者スポーツ協会」の設立を山口県における障害者スポーツ振興の新たな出発点とされ、今後一層の障害者スポーツ基盤の充実を図られることをお願いいたしますとともに、貴協会のますますの御発展と関係の皆様方の御健勝、御多幸を心からお祈りしまして、お祝いのことばとさせていただきます。



第2回全国障害者スポーツ大会（よさこいピック）

山口県健康福祉部障害福祉課
主任主事 小澤 俊 昭

金メダル18個、銀メダル9個、銅メダル10個、合計37個。しかし、讃えるべきは、メダルの数ではなく、自身のベストを尽くそうと努力し続けた選手全員だと思います。私は、山口県選手団の事務局員として全国障害者スポーツ大会「よさこいピック高知」に参加させていただきました。「スポーツとそれに取り組む人のすばらしさ」を体感した3日間でした。

選手の皆さんは11月の全国大会まで、5・6月の県大会の後、かげろうに揺らぐ競技場で2回の強化練習を行い、普段は、施設、学校、家庭で先生方や家族の支えを受けて個々に練習を積み重ねてきました。

目の当たりにしたのは、選手それぞれの強い思い、それを全身で表現する姿、また、選手を限りなくベストの状態に大会に臨ませたいという一心から夜遅くまでミーティングを繰り返し、選手以上に緊張した面持ちで競技に付き添った役員の方々の皆さん。また、一生懸命な選手の姿に敵味方関係なく、大きな声援と拍手を送ってくれた全国の選手団や高知県のスタッフ、ボランティアの皆さん。選手と

共に喜び、悔しがった姿が次々と思ひ浮かびます。

私たち県職員の役割は、事務局として選手、役員が競技に集中できる環境を用意することと考えていますが、不十分な点が多かったと反省しています。この度の経験を、今後に生かすべく山口県障害者スポーツ協会を中心として、関係機関、役員の方々と共に、よりよい競技環境と選手・コーチ・審判員の育成・強化に努め、障害者スポーツの振興をバックアップしていきたいという思いを新たにしました。

山口県に住む皆さん、この会報誌をご覧になった皆さん、私が目の当たりにしてきたことは、この紙面では伝えきることが出来ません。是非、選手として、また選手を支える役員、ボランティアとして障害者スポーツを体感してみませんか。関わった人たちの感動という火種が結びつき、障害者スポーツがますます広がっていくことを強く望んでいます。

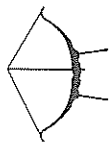


山口県選手団

記録室 選手の活躍

アーチェリー

全国大会出場!!



山口県身体障害者アーチェリー協会
大下 博

厚生労働大臣杯争奪第31回全国身体障害者アーチェリー選手権大会が、平成14年10月5日(土)、6日(日)熊本県菊池郡菊陽町杉並区公園特設アーチェリー場で開催され、山口県チームとして参加しました。

大きな大会に参加することが出来て大変うれしかった。これからもアーチェリーを楽しみながら、ひとつでも上を目指して取り組んでいきたいと思ひます。

<成績>

- リカーブ部門 男子個人 50・30Mラウンド
- 優勝 50M:257点・30M:300点・合計557点
- 団体戦 (各県1チーム上位3名の50M・30Mの総合得点とする)
- 優勝 山口県チーム
- (大下 博:557点、河本 公成:533点、小林 進:512点、合計1602点)



優勝した大下さん

中四国大会開催

山口県身体障害者アーチェリー協会
大下 博

第24回中四国身体障害者アーチェリー大会が、平成14年9月29日(日)山口県大島郡久賀町の長浦スポーツ海浜スクエア総合グラウンドで開催され、山口県チームとして参加しました。

<成績>

- リカーブ部門 男子個人 50・30Mラウンド
- 第5位入賞 50M:271点・30M:311点・合計582点
- 団体戦 (各県上位3名の30Mの総合得点とする)
- 優勝 山口県チーム
- (手代木 輝俊:321点、河本 公成:319点、小林 進:312点、合計952点)

水 泳



初参加で大会新

下関市 佐々木 俊 子

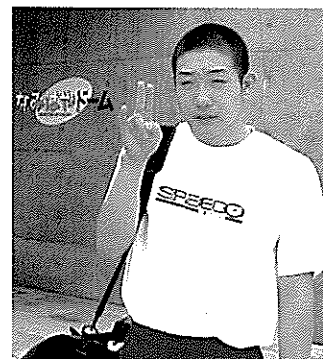
2002ジャパンパラリンピック水泳競技大会が、8月18日大阪なみはやドーム(50mメインプール)にて開催されました。

2001日本知的障害者水泳選手権大会(横浜国際プール)に出場し、標準記録に達したことにより参加資格を得ました。

100mバタフライ 1位 (大会新) 金メダル
50mバタフライ 6位 の成績で、「楽しかった」、「がんばった」、「また泳ぎたい」が大輔の感想でした。

今後も、輝いた笑顔にあえるように共に歩んで行きたいと思ひます。

たくさんの応援、有難うございました。



大会新を出した大輔君

永源山水上フェスタへの参加

ハンディキャップスイミング

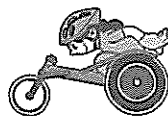
健常者も障害者も一緒に誰でも楽しく参加できるようにと、数年前から板キックやアトラクションを多く取り入れて名前もフェスタとなったこの大会に向けてみんな一生懸命練習します。泳ぎはもちろんのこと、名前をよばれたら立って礼をするところから、スタート・ゴールタッチ、そして本番では彼らも私たちも同じようにドキドキします。泳ぎ終えた顔はどの子も誇らしげ。今年は9人が参加して力を合わせてリレーも泳ぎました。

藤村くんは「楽しかった。1位と2位が取れて嬉しかった。」、徳永さんは「みんなクロールをしてバタバタをして一番楽しかった。もう一つあるよ。賞状をもらったのが嬉しかった。またほしい。」と話してくれました。

記録

100m	ドレール	1位	1'37"08
100m	フリール	1位	1'24"01
25m	自由形	1位	長棟純平 16"07
		2位	藤村英博 18"04
		3位	橋本和典 24"00
50m	自由形	1位	藤村英博 39"02
		2位	長棟純平 40"04
25m	バタフライ	1位	広実滝也 47"00
50m	バタフライ	1位	藤村英博 52"02
50m	平泳ぎ	1位	重田光俊 59"06
25m	背泳ぎ	1位	重田光俊 27"04
		2位	広実滝也 42"04
25m	板キック	1位	徳永恵美 49"04
25m	板キック	1位	重田光俊 23"05
		2位	浜田良二 45"04

陸上



車いす駅伝競走のもよう

山口県車いす陸上競技連盟

平成元年7月に設立以来会員一同、国内外色々な大会に参加活躍しております。

今回紹介する大会は、平成14年2月24日に開催されました第13回全国車いす駅伝競走大会のもようです。

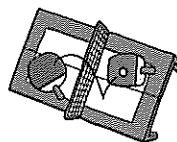
過去の大会順位は、優勝3回、準優勝7回、4位2回、6位1回という成績です。260万京都府民を舞台に、高円宮・同妃両殿下のご臨席を仰ぎ、全国各地から28チーム参加し、京都国際会館前スタート、西京極陸上競技場ゴール5区間21.3kmで争い、山口県チームは4位入賞でした。

来年は2月23日に開催する予定です。第1回大会より出場メンバーが変わらず、平均年齢も高く入賞するのも難しくなりつつありますので、若い人材が欲しい現状です。会員を募集していますので、詳しくは事務局までお問合せくださいますようお願いいたします。



車いす陸上競技連盟の選手達

卓球



ふれあい卓球大会の開催

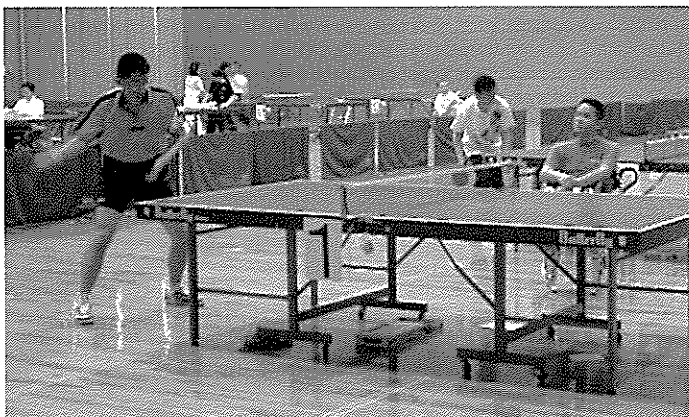
山口県身体障害者卓球協会
理事長 大平 悟

卓球を通じて交流を深めようと、平成14年11月3日(日)山口県スポーツ文化センターにおいて、第3回ふれあい卓球大会を山口県身体障害者卓球協会の主催のもと、県内外から38チーム(選手約150名)が参加し、団体戦(シングル2・ダブルス1)の予選リーグと決勝トーナメントを行った。

会場には歓声が響き、選手は笑顔でプレーを楽しんでいました。

(成績)

- 1部 優勝 Y. S. T (大平、谷口、近重)
- 2部 優勝 光陽クラブ (関谷、関谷、梅林)
- 3部 優勝 岡山旭卓友会 (阿部、神崎、久森)



スマッシュ! 入ったかな!?

ソフトボール



グランドソフトボール大会に参加して

宇部市視覚障害者福祉協会
会長 飯田 晋一

第27回山口県盲社会人グランドソフトボール大会は、平成14年10月20日(日)に下関市北公園運動公園で、徳山・下松・宇部の3チームが参加して、リーグ戦形式にて開催されました。

昨年までは、山口・下関を加えた5チームでトーナメント形式で行っていたが選手の高齢化と視力障害の重症化によるものらしい。寂しい限りである。

今も降り出しそうな曇天の下、プレーボールがかかった。しかし選手たちは、澁刺としていた。

1試合目 宇部 7 対 0 徳山

2試合目 下松 4 対 2 徳山

そして、宇部対下松の決勝戦を迎えた時、無情の雨が落ち始めた。30分待機したが、雨は強くなるばかり・・・。
両チームの優勝という形で終了した。

この日のために、炎天下も強い風の日も、そして年に2・3回県外（広島、福岡）まで行って練習をして来たが、選手達の心中を思えば居た堪れない気持で家に帰ったのである。

身体障害者ソフトボール大会に参加して

周東町身体障害者協力会
宮本 朗

平成14年6月23日山口市スポーツの森多目的広場において開催された、第21回山口県身体障害者ソフトボール大会に連合チームの一員として参加しました。

朝から曇り空で、4チームの参加しかなく、メンバーも9人ちょうど我がチームは不安を抱えながらも、初戦で宇部白鳥会と対戦しました。この試合は打線が爆発し、わりと楽な試合展開で勝ちました。次は早くも決勝戦。相手は山口市に勝った防府市チーム。この試合は、互いに点を取り合う打撃戦となりましたが、接戦の末、優勝することが出来ました。

その結果、10月5日～6日に岡山県玉野市で開催される中四国ブロック身体障害者ソフトボール大会に出場することとなりました。

初戦で強豪チーム愛媛県代表喜多ブルースカイに敗れ、結果は第3位でした。

両大会とも、他のチームの選手と交流を図ることができ、有意義な大会となりました。

若い人がもっと多く参加してくれればと願っています。



中四国ブロック大会に参加した選手

ソフトボール大会をつうじて

山口県精神障害者福祉会連合会

9月18日（水）、秋晴れの申し分のない日に、山口市吉敷、維新公園サブグラウンドにおいて、県下11チーム（作業所・病院等の障害者及び職員等）が参加し、ソフトボール大会を挙行。日頃の暗い顔はどこえやら。のびのびと明るい笑顔と動き、そして大歓声。こんな面があの人にもあるのだと見直したり、平常の鈍い動作が信じられない様なプレーに、怪我や明日以降の後遺症を心配するやら。しかし、当人はいたって平気。大ハッスルで大盛況の中、Aゾーンは小郡まきはら病院、Bゾーンは山口共同作業所が優勝。いずれも白熱した好ゲームで、全員満足のいく一日でありました。限られた生活、ややもすると交流のない障害者同志のふれあい、病院時代の仲間との語り合い、短い時間を存分に楽しんだ一日でありました。これからもソフトボール、卓球、ソフトバレーボール等、多くの大会の機会をとらえ、幅広い交流を図って行きたいと思っておりますので、何卒ご理解あるご協力をお願いします。



大会の模様

開催地職員 I, W

今年のソフト大会は、山口地区がBブロックで優勝できて嬉しく思っています。自分は、余り活躍できなかったけど、チームがママアの成績が残せたので満足しています。自分としての燃焼度は50～60%ぐらいだったかなと思っています。

もう少し伸び伸びとプレーが出来て、そしてもう少し楽しみながらプレーしたいナという所が、自分にとっての課題かなと思っています。

最後に、こういう機会を作っていただいた関係各位の皆様にご感謝する次第です。本年もヨロシク！！

A, T

賛助会員のご加入ありがとうございます。

(順不動)

H14年12月末現在

山口市長会 様 山口県町村会 会長 中本 富夫 様 山口県経営者協会 会長 辻 薫 様 (株)徳本工務店 代表取締役 徳本 信治 様 株式会社 山崎金属商会 代表取締役 山崎 卓司 様 田中機器販売 田中 真次 様 宇部市身体障害者団体連合会 会長 山野井 吉男 様	山口市身体障害者団体連合会 会長 大平 悟 様 社会福祉法人 親生会 うべくるみ園更生部 施設長 浅原 節男 様 山口県精神障害者社会復帰施設等協議会 会長 山本 悟 様 山口地区精神保健家族会 会長 陶山 義仁 様 美祢地区ひので会 会長 小川 利明 様	小野 哲男 様 野恵美子 様 原 憲一郎 様 桑牧 英公 様 保善 木本 様 福山 田村 様 山中 佐竹 様 吉山 綾重 様 兼	黒田 川慶子 様 田中久美 様 貞山 本利 様 山小上野 秀君 様 吉濱鶴本 隆麗 様 白井 公捨 様 吉山河 文達 様 藤永 達也 様
---	---	--	---

お知らせ

参加者募集

チャレンジしてみませんか？

■スポーツ教室開催事業

- * ボッチャ教室
とき 平成15年2月2日(日) 10:00 ~
ところ 周南養護学校
- * ゴールボール教室
とき 平成15年3月15日(土) 13:00 ~
ところ 下関市中心身障害者スポーツセンター

■障害者スポーツパワーアップ・育成事業

- * 陸上(投てき・跳躍)
とき 平成15年3月9日(日) 13:00 ~
ところ 維新百年記念公園 陸上競技場
参加資格
・障害者で、全国大会出場を目指す者。
・障害者で、全国的なレベル到達を希望する者。
・公認障害者スポーツ指導者
- * 卓球
とき 平成15年3月21日(金) 9:00 ~
ところ やまぐちリフレッシュパーク
参加資格
・障害者で、全国大会出場を目指す者
・障害者で、全国的なレベル到達を希望する者。

☆ 参加申込：事務局にお問合せください。

会報の愛称募集

会報の愛称をきめて！

スポーツ協会だより(会報)の愛称を募集します。
障害者スポーツにふさわしい愛称の応募を心より
お待ちしております。

- ① 募集期間 H15年2月末日まで
- ② 応募資格 山口県内に居住している方
- ③ 応募方法 官製はがきに、「愛称」・「氏名(フリガナ)」・「住所」・「年齢」・「職業」を明記の上、左下記の事務局に送付

会員募集(正会員・賛助会員)

スポーツ協会では、幅広く会員を募集しています。

正会員：障害者スポーツ団体、
スポーツを实践する障害者個人
障害者団体、障害者関係施設
特殊教育諸学校
その他の団体
(スポーツ指導者、一般スポーツ団体、
ボランティア、メディカル等関係団体、
企業経営団体 他)
学識経験者 他

賛助会員：団体、個人でどなたでも
会費：正会員、賛助会員で異なります。詳しく
は事務局へお問合せください。
入会申込：事務局へお問合せください。書類を送付
します。

事務局

山口県障害者スポーツ協会
〒753-0072 山口市大手町9-6 県社会福祉会館2F
TEL 083-901-4065 (FAX兼用)

